

白商発第173号
令和2年10月13日

情報化推進委員会委員 各位

白河商工会議所情報化推進委員会
委員長 細谷 岳男
(公 印 省 略)

令和2年度第1回情報化推進委員会の結果報告について

令和元年度第2回情報化推進委員会に欠席されましたので、当日配布した資料を送付し、概要をご報告申し上げます。

記

1. 開催日時 令和2年10月9日(金) 午後1時30分より
2. 開催場所 白河商工会議所会議室(オンライン)
3. 出席者 4名
4. 会議の概要
 - ①令和2年度事業計画進捗状況
 - ②事業所における情報化推進の取り組みの情報交換
(国・県・市・関係機関などに反映させる要望・提言内容の意見集約について)
5. 閉会(午後2時40分)

担当：白河商工会議所 企画総務課 中島

令和2年度第1回情報化推進委員会 報告書

記載日：令和2年10月12日

記載者：中島香織

委員会名	令和2年度第1回情報化推進委員会																														
開催日時	令和元年10月9日（金） 午前1時30分～午後2時40分																														
開催場所	白河商工会議所交流室																														
出席者	<p>計7名 （委員4名）</p> <table border="0"> <tr> <td>アクサ生命保険(株)白河支社</td> <td>委員長</td> <td>細谷</td> <td>岳男</td> </tr> <tr> <td>三菱製紙（株）白河事業所</td> <td>副委員長</td> <td>根岸</td> <td>誠</td> </tr> <tr> <td>東北電力ネットワーク(株)白河電力センター</td> <td>委員</td> <td>齋藤</td> <td>雅彦</td> </tr> <tr> <td>(株)川金ダイカスト工業</td> <td>委員</td> <td>三輪</td> <td>政彦</td> </tr> </table> <p>（事務局3名）</p> <table border="0"> <tr> <td>白河商工会議所</td> <td>専務理事</td> <td>金澤</td> <td>洋一</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>事務局長</td> <td>内藤</td> <td>亘</td> </tr> <tr> <td>〃 企画総務課</td> <td>主事</td> <td>中島</td> <td>香織</td> </tr> </table>			アクサ生命保険(株)白河支社	委員長	細谷	岳男	三菱製紙（株）白河事業所	副委員長	根岸	誠	東北電力ネットワーク(株)白河電力センター	委員	齋藤	雅彦	(株)川金ダイカスト工業	委員	三輪	政彦	白河商工会議所	専務理事	金澤	洋一	〃	事務局長	内藤	亘	〃 企画総務課	主事	中島	香織
アクサ生命保険(株)白河支社	委員長	細谷	岳男																												
三菱製紙（株）白河事業所	副委員長	根岸	誠																												
東北電力ネットワーク(株)白河電力センター	委員	齋藤	雅彦																												
(株)川金ダイカスト工業	委員	三輪	政彦																												
白河商工会議所	専務理事	金澤	洋一																												
〃	事務局長	内藤	亘																												
〃 企画総務課	主事	中島	香織																												
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員長挨拶 細谷委員長より挨拶。</p> <p>3. 議題</p> <p>①令和2年度事業計画進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力の強化として、2つのセミナーを開催することを、資料1をもとに説明。意義なく、予定通りに進めることとなった・ <p>②事業所における情報化推進の取り組みの情報交換（国・県・市・関係機関などに反映させる要望・提言内容の意見集約について）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、資料2～5をもとに前年度の県への要望事項と事前アンケートの結果や委員より挙げられた意見について説明。委員よりコロナ禍での各事業所状況や自社での情報化の取り組みについて意見交換を行った。 <p>【情報化推進について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフィスや食堂など様々な用途に使用できる、組み立て式のパーティションの販売を新たに始めた。コロナ禍の中、継続して需要があるため、引き続き販売を行っていく。工場は現場を、社内外から見ることがあるので、どこから情報化に取り組みか難しい（根岸） ・自動車 TOYOTA のヒット商品の部品を扱う関係で、この部分の需要は変化がなかったが、全体としての売上は半減したが、10月以降は計画通りの数字に戻る見込み。以前から、ペーパーレス化やテレワークには積極的に取り組んできたため、コロナ禍でもスムーズに対応できたが、工場の現場など出社しないとできない仕事はたくさんある。リモートで時間単位・分単位で生産性を管理できるようにしている。究極はすべてのロボット化だと思う。行政等のアンケートなどが紙で来るので確認のための出社が必要なので、改善してほしい（三輪） ・コロナ禍では、コロナ感染者を出さないことを徹底して注意していた。ロッカーの使用時間をずらしたり、執務室を分けたが課長の監督が負担となった。電気の使用量は工場の稼働時間が減った分、影響があった。テレビ会議システ 																														

ムは以前から使用していたが、議論の場では発言が出にくいこともあったので、招集しての会議が多かったが、コロナ禍では議論の場でも行われるようになり、慣れてきたと思う。内部の職員の予定は管理されているので、緊急時に何時間で何人出社できるかが把握できる。停電情報などできるだけ早く市民に情報提供できるよう取り組んでいる。マイナンバーの申請にはネット必要なので、どの年代でも情報化に慣れていくしない（齋藤雅彦）

・テレワークを実施し、お客様の訪問が出来なくなったため、オンデマンドでの商品 PR などを展開しているが、お客様のメールアドレスを入手することが難しい。社内の会議はオンライン化が進んでいる。年配の職員でも急速に情報化に対応しなくてはいけなかったが、慣れてきたように思う。しかし、訪問を再開しているので、以前のような直接のやりとりはが主となりつつある（細谷）

・白河市でサテライトシェアオフィスの計画があるので、店の集客と結び付く、地域のWi-Fiエリアの拡大について、行政に要望していきたい。

【情報化推進以外の事項】

- ・大学がないから、地元の学生を採用できない
- ・働き口はあるので、受け入れる側の準備が必要
- ・東京都で転入より転出が上回っているため、地方への移住の需要が高まっている
- ・白河市が住みよい街ランキング福島県で1位の理由を分析しPRすべき
- ・外からくる人に対する支援について
- ・白河市の魅力をSNS等でPRしていくべき

※オンライン会議の開催について

- ・今回、白河商工会議所としては初めてのオンライン会議を Google 社のシステムである Google meet にて開催した
- ・事前に会議アドレスを作成し、招待をする仕組みで順調に参加できた
- ・音声が届かない不具合があったが、音量等の調整で環境が整った（スムーズに会議を進行するために）
- ・発言者以外のマイクをオフにする
- ・同室で複数人が会議に参加する場合、複数 PC の音声重複して他の参加者に届いてしまう・ハウリングを起こしてしまうため、音量を切るかひとつの PC（カメラ・スピーカー）で行う方がよい
- ・使用する PC によっては、グーグルクロームのダウンロードや音声・マイクの設定が必要

4. その他

特になし

5. 閉会

午後2時40分閉会。